

## 5. 機械・施設の導入に関する詳細

### 対象となる機械・施設例

麦・大豆の生産拡大に向け、生産性向上や効率化に必要な機械・施設（50万円以上5,000万円未満※）の導入、リース導入及び改良を支援します。リース導入の場合、リース期間は2年以上で法定耐用年数以内の物のみ対象とします。

※ほ場で利用する農業機械の導入に限り、50万円以上10,000万円未満。その際の上限事業費は、当該機械ごとの受益面積1haにつき75万円。

#### ① 生産性の向上のために必要なアタッチメント等の導入

ブロードキャスター、サブソイラー、ボトムプラウ 等

#### ② 生産の高度化・効率化に必要な機械・施設の導入

高速播種機、農業用ドローン、コンバイン、乾燥調製施設（乾燥機、色彩選別機）等

#### ③ 上記作業機械を牽引するために必要なトラクターの導入



## 6. 採択要件

- 国産麦・大豆の生産・利用拡大に向けて、産地と実需が連携して麦・大豆国産化プランが策定されていること。

〔産地にミスマッチとなっている産地品種銘柄がある場合、ミスマッチの解消に向けた内容となっていること。〕

- 生産拡大・生産性向上につながる成果目標※を定めていること。

※実施要領に規定する複数の目標の中から選択してください。

- 事業実施計画書の内容が実施要領の要件を満たしており、成果目標の達成に直接結び付く内容であること。